

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	国語
科目基礎情報					
科目番号	0001		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	物質工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	『現代文B』(数研出版)、『新編古典』(東京書籍) / 『基礎からの国語表現の実践』(京都書房)、『標準漢字演習』(とうほう)				
担当教員	宮本 克之				
到達目標					
<p>1、文章の客観的理解により、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。</p> <p>2、文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置づけを説明できる。</p> <p>3、現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語塔の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。</p> <p>4、代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置づけを理解し、作品の価値について意見を述べるができる。</p> <p>5、社会で使用される言葉を始め、広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、一般的な社会的コミュニケーションとして実践できる。</p>					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	説明的文章の論理展開、要旨を的確に理解することができる。	説明的文章の内容が理解できる。	説明的文章の内容が理解できない。		
評価項目2	文学的文章について作品の特色、主題を理解することができる。	文学的文章について場面や状況、心情を読み解くことができる。	文学的文章の内容が理解できない。		
評価項目3	応用的な自己表現をすることができる。	基本的な自己表現をすることができる。	基本的な自己表現ができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	近代以降の文章のうち、論理的な文章を客観的に理解する能力と、文学的文章を多角的に鑑賞する能力を伸ばすとともに、視野を広げ、感受性を磨こうとする主体的な態度を培うことができる。古文では読解・鑑賞の方法を修得し、思考力と言語感覚を養うとともに、日本文化に対する知見を深める。				
授業の進め方・方法	授業の進め方については講義・演習形式を併用する。				
注意点	ふだんから日本の言語文化、日本語表現に興味や関心を持つこと。また、幅広いジャンルの読書を行なうことで読解力の向上を目指すこと。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス	日本語を学ぶ目的や、「ことば」を学ぶ方法を確認する。	
		2週	評論「胆力について」①	日常生活を異化し、活性化する、筆者の思考方法を理解する。	
		3週	評論「胆力について」②	筆者の主体的な生のあり方について考える。	
		4週	小説「山月記」①	小説を通じて正確な日本語読解能力を養う。	
		5週	小説「山月記」②	小説を通じて正確な日本語読解能力を養う。	
		6週	小説「山月記」③	小説を通じて自己を相対化し、論理的に意見・感想を発表する。	
		7週	小説「山月記」④	小説を通じて自己を相対化し、論理的に意見・感想を発表する。	
		8週	表現①	小説の主題や日本語表現の特色を中心に感想文を書く。	
	2ndQ	9週	詩歌「永訣の朝」ほか①	宮沢賢治等を題材にして、現代詩読解の方法を学ぶ。	
		10週	詩歌「永訣の朝」ほか②	宮沢賢治等を題材にして、現代詩読解の方法を学ぶ。	
		11週	評論「「である」ことと「する」こと」①	評論文を正確に読解することができる。	
		12週	評論「「である」ことと「する」こと」②	評論文を正確に読解することができる。	
		13週	評論「「である」ことと「する」こと」③	差異と等価の関係を文章から見出すことができる。	
		14週	評論「「である」ことと「する」こと」④	評論文の展開の仕方について理解することができる。	
		15週	問題演習①	ワークブックの語句・語彙冠する演習を行い、確認する。	
		16週	前期期末試験	試験により理解度を点検する。	
後期	3rdQ	1週	評論「手の変幻」①	「美」を考察する抽象的な評論文を読解する。	
		2週	評論「手の変幻」②	筆者の言う「驚くべき逆接」について考えたことをまとめ、発表する。	
		3週	表現②	美や芸術に関する意見文を書く。	
		4週	小説「檸檬」①	限られて情報から謎を読み解く訓練を行なう。	
		5週	小説「檸檬」②	作者について調べるとともに文学史的な位置について理解する。	
		6週	表現③	作品に描かれた世界について考えたことを中心に鑑賞文を書く。	
		7週	短歌と俳句①	短歌に詠まれて世界を理解するとともに、表現の特色について考察する。	
		8週	短歌と俳句②	俳句に込められた世界を理解するとともに、作者の心情について考察する。	

4thQ	9週	短歌と俳句③	好きな短歌、俳句を選び、その鑑賞文を書いて発表する。
	10週	問題演習②	ワークブックの語句・語彙冠する演習を行い、確認する。
	11週	小説「こころ」①	登場人物の心理を文章から読み取ることができるようになる。
	12週	小説「こころ」②	登場人物の心理を文章から読み取ることができるようになる。
	13週	小説「こころ」③	人間の欲望、罪、生の尊厳について文章に即して考察する。
	14週	小説「こころ」④	人間の欲望、罪、生の尊厳について文章に即して考察する。
	15週	表現④	作品に関する批評文を書く。
16週	後期期末試験	試験により理解度を点検する。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験60	発表20	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他20	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0